

実施計画事業名		新・省エネルギー推進事業			評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		総務部地域振興課			課長(主幹)名	布施 茂			
総合計画体系	分野	3	環境・生活						
	政策	3	環境問題への積極的な取組						
	施策	1	新エネルギーの利活用を図ります						
	関連施策								
現状と課題	新エネルギーの普及については、現在、風力発電施設が74基、76,355kwの発電量で稼働しており、太陽光発電は5,020kwの施設が完成しているが、事業ベースでの導入が進み、公共施設、民間への普及は進んでいないことが今後の課題といえる。省エネルギーの取り組みについては、事業者としての市役所として、冬季間における室内温度の引き下げ、節電等を行っているが、今後、地域全体の省エネルギーの具体的な実践が課題といえる。								
目的	本市において、新エネルギーの活用を積極的に進めるとともに、省エネを推進することで、地域社会全体で環境負荷の低減を図り、「人と地球にやさしいまちづくり」を目指す。								
5ヶ年展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・新・省エネルギーに関する啓発 ・環境づくり会議における全市的な取組実行 ・本市の新たな再生可能エネルギーの活用に係る検討・実施 ・本市の電力消費に係る自然エネルギーの割合の向上 								
成果指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度	
	本市電力需要における自然エネルギーの割合		%		目標	85.0	↑	↑	
説明	風力、太陽光などの自然エネルギー総発電量/本市の全ての電力需要量×100Kwh(各年)				実績	89.0	89.1		
活動指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度	
	太陽光発電システム(住宅用・事業者用)設置数		件		目標	15	18	27	
	説明	住宅用だけではなく、学校、公共施設等、本市の全ての建物を対象				実績	15	18	
	市内における電気自動車の保有台数		台		目標	↑	↑	↑	
	説明	市内に登録されている電気自動車の保有台数				実績	1	9	
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
説明					実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	16,230	15,573	45,439			
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	8,800			
	その他		千円	0	7,908	29,180			
	一般財源		千円	16,230	7,665	7,459			
	この事業にかかる職員数		人/年	1.22	1.66	1.66			
人件費(B)		千円	8,450	11,273	11,273				
計(A+B)		千円	24,680	26,846	56,712				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 「環境都市宣言」は、平成23年3月1日に議決								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 太陽光発電実証研究施設が本市に無償譲渡となり、その一つとして「次世代エネルギーパーク構想」が認定となった。その実現に向けて、具体的な事業について「環境づくり会議」等で意見やアイデアなどを求め推進していく。実施事業が固まり次第、細事業を追加していく。また、「地球温暖化対策実行計画」の実施初年度であり、実行計画の事業についても事業化が決定したい細事業として追加していく。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 「稚内メガソーラ発電所」の利活用については、アイデアや提案を「環境づくり会議」に求めてきたが、今の時点で寄せられたものは無い。市民からは「スマートコミュニティの実証研究」の提案があったので、国も提案を求めていることから提案に向けた環境整備を行っているところであり、「次世代エネルギーパーク構想」の推進の財源対策の関係からぜひ提案していきたいと考えている。また、引き続きアイデアは求めていきたいと考えている。 特に新・省エネルギー設備や製品の普及については、支援制度を研究する。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	b	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。 特に、次世代エネルギーパーク構想については、実現に向けて、具体的事業の検討を進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--